

ドローイング・ショウ

2022年初頭から、iPad で制作したドローイングをプリントして展示します。描きはじめてきっかけは至極単純で、たまたまiPad で絵を描く機会があったから。いつまで続けられるか自問しつつ、日々のルーティンとなりました。目線と手が、同時に動くような感覚をドローイングと呼ぶなら、今回展示されるものはドローイングです。無数のペンタッチの中から選んだツールは木炭、描かれたのは主に住居内の人物や静物。取り立てて特別な情景ではありません。

あをば荘では、11/19（土）より藤林悠による個展を開催。近年は主に写真を中心に制作してきた作家が、ドローイング作品で展覧会を構成します。作家は以前より、日常的な生活圏での風景を題材としており、それは作家にとって視線を通した経験の集積でもあります。今回は（絵画表現と比べれば）直接的に外界を写しとる写真技法ではなく、ドローイングという表現での景色を提示します。

ドローイング・ショウ

展示作家：藤林 悠 (Haruka FUJIBAYASHI)

会期：2022年11月19日（土）20日（日）23日（祝・水）25日（金）26日（土）27日（日）開場

※会期中の土日祝日開場、11/25（金）のみ平日開場

開場時間：15:00-20:00

会場：あをば荘

住所：〒131-0044 東京都墨田区文花1-12-12

URL：<http://awobasoh.com/archives/2651>

問い合わせ：info@harukafujibayashi.work

アクセス：

京成電鉄・都営浅草線・東京メトロ半蔵門線・東武スカイツリーライン 押上駅から徒歩14分

東武鉄道亀戸線 小村井駅から徒歩9分

東武スカイツリーライン・東武亀戸線 曳舟駅、京成電鉄押上線 京成曳舟駅から徒歩20分

【作家情報】

藤林 悠 FUJIBAYASHI Haruka

秋田県秋田市出身。2008年東京藝術大学大学院美術研究科 絵画専攻壁画研究領域 修士課程修了、2006年東京造形大学美術学科絵画専攻卒業。主な展覧会に「It'll be a frosty Friday それは冷ややかな金曜日になります」（2021年 3F/3階・東京都台東区）、「Intimate Path」（ART369プロジェクト・栃木県那須塩原市）、「Equidistancia」（La rectoría・スペイン）、「PERSISTENCE」（2018-2019年 あをば荘・東京都墨田区、「SURVIBIA!!」展内・東京都多摩市、芸宿・石川県金沢市、山下ビル・愛知県名古屋市）など。

<http://harukafujibayashi.work>

